

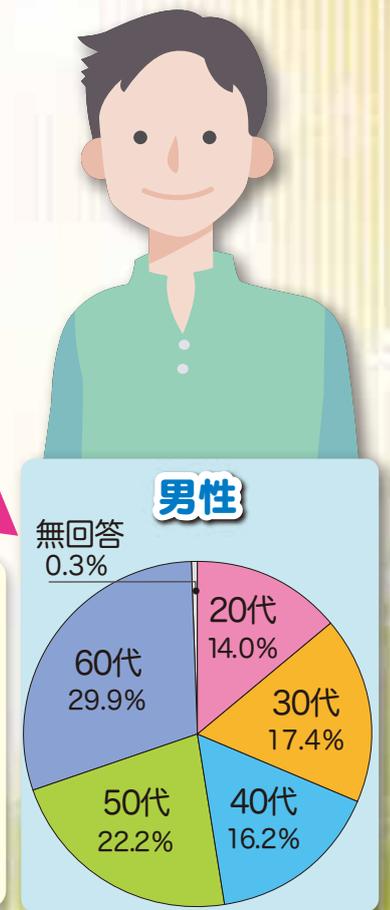
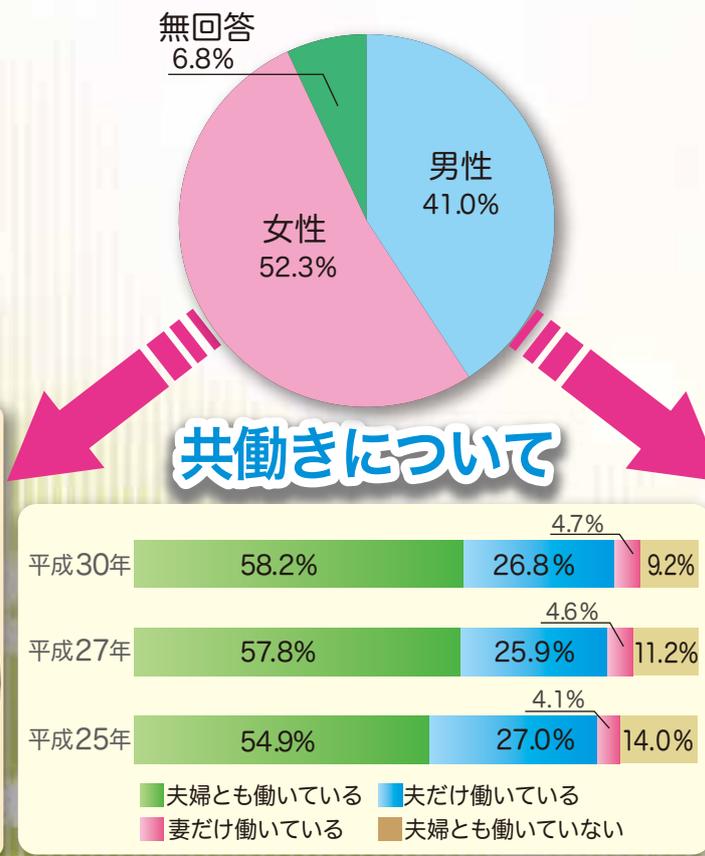
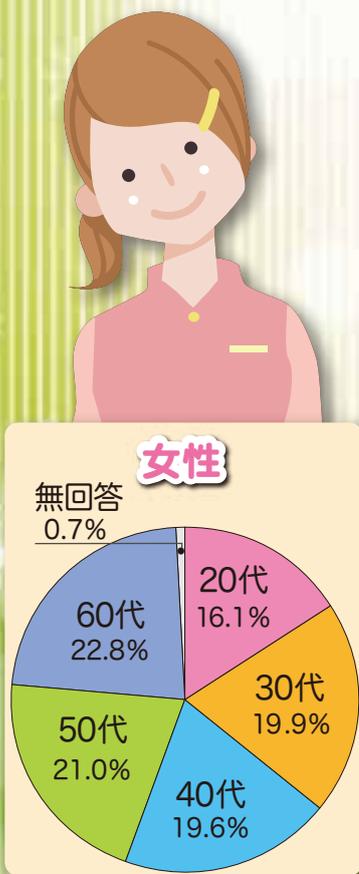


男女共同参画社会に関する意識調査結果報告

那須塩原市における男女共同参画の推進状況や市民意識の実態を把握するため、平成30年10月に2,000人を対象としたアンケート調査を行いました。(回収率42.9%)

調査設計

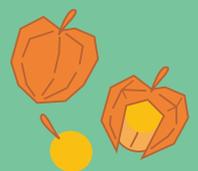
- 1 調査地域 市内全域
- 2 調査対象 20歳以上の男女
- 3 標本数 2,000人
- 4 抽出方法 住民基本台帳に基づき性別・年代別・地区別無作為抽出
- 5 調査方法 郵送配布・郵送回収及びインターネット回答
- 6 調査期間 平成30年10月15日(月)～10月31日(水)



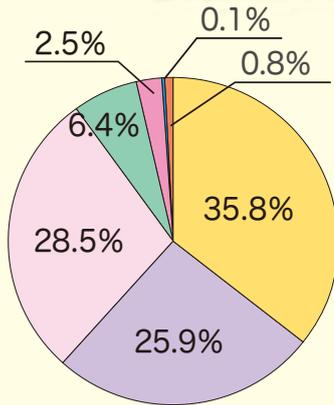
※少数第2位以下を四捨五入しているため、合計値は100%とならない場合があります。

もくじ

- P2 ● 市民意識調査の結果
- P3 ● 男女共同参画に関する年次報告
- P4・P5 ● 地域で活動されている方へのインタビュー
- P6 ● 男女共同参画フォーラム2019 フェスタinパーティ2019 四コマ漫画



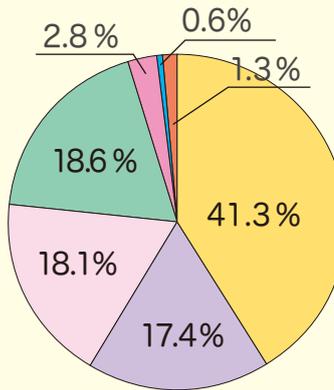
Q.夫婦間でどのような役割分担をしていますか



「夫婦同じ程度」の割合は、前回調査より0.8%増加したよ。

子どもの世話

- 主に夫
- どちらかといえば夫
- 夫婦同じ程度
- どちらかといえば妻
- 主に妻
- その他
- 無回答

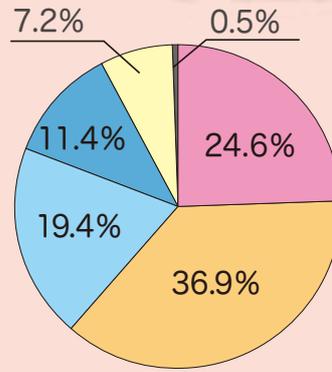


親や身内の介護

- 主に夫
- どちらかといえば夫
- 夫婦同じ程度
- どちらかといえば妻
- 主に妻
- その他
- 無回答

「夫婦同じ程度」の割合が前回調査より1.5%増加したよ。

Q.夫婦間の役割分担の現状についてどう思っていますか?



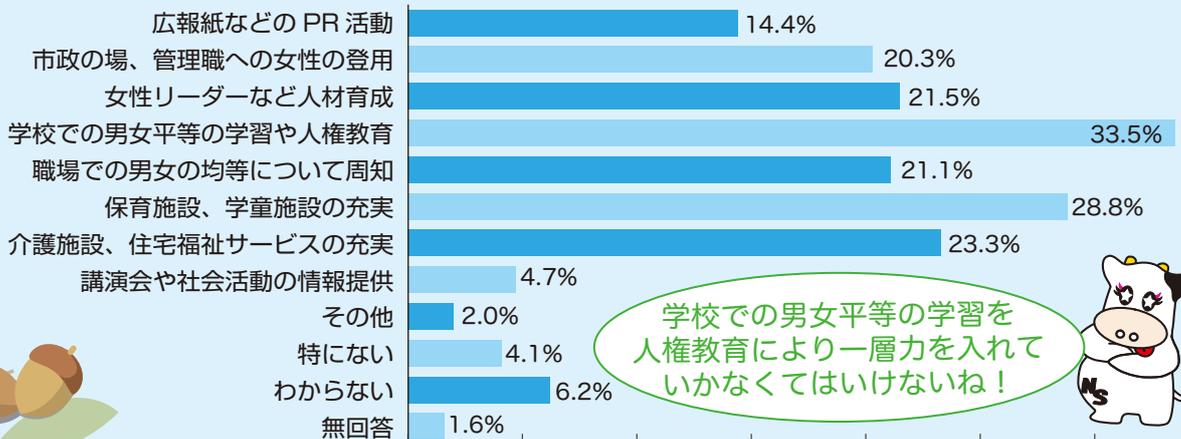
夫婦の役割分担の満足度

- 満足している
- やや満足している
- やや不満
- 不満
- わからない
- 無回答



夫婦の役割分担に満足している人の割合は、前回調査より1.8%減ったよ。

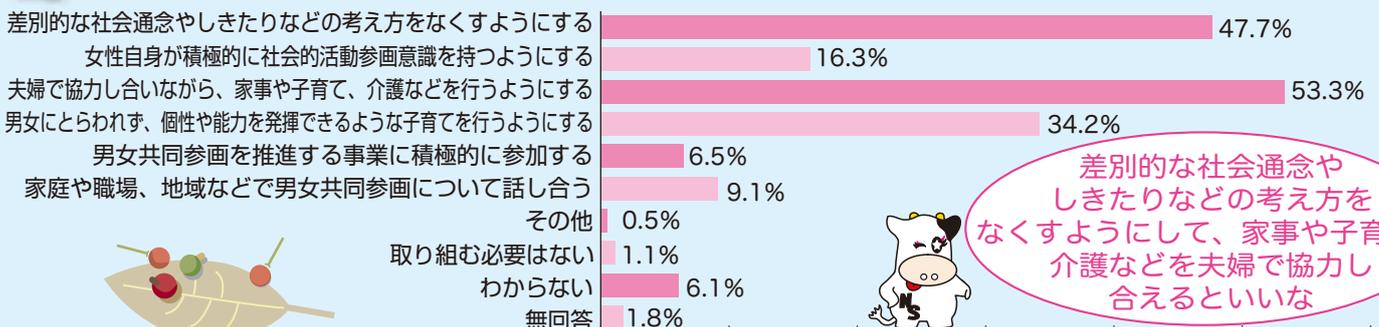
Q.市は今後どのようなことに力を入れていくべき?



学校での男女平等の学習を人権教育により一層力を入れていかななくてはならないね!



Q.私たち自身に必要な取り組みは?



差別的な社会通念やしきたりなどの考え方をなくすようにして、家事や子育て、介護などを夫婦で協力し合えるといいな



男女共同参画に関する年次報告

平成30年度の実施状況

那須塩原市では、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、「第3次那須塩原市男女共同参画行動計画」の3つの基本目標の下、各施策・事業を推進してきました。男女共同参画推進事業に関する平成30年度の主な事業の実施状況について報告します。なお、全容は、市ホームページ「男女共同参画」のページでご覧いただくか、市役所市民協働推進課の窓口及び各支所でご覧いただけます。

第3次那須塩原市男女共同参画行動計画(平成29年度～33年度)

基本目標Ⅰ

男女共同参画の意識づくりと環境整備

自らが望む生き方を選択できる社会の実現を目指し、男女共同参画意識の啓発を行います。また、家庭生活や職業、地域活動との両立ができる環境づくりのため、子育てや介護サービスの充実など社会的支援に努めます。

平成30年度の主な事業・取組例

●ファミリーサポートセンター事業

- 利用会員280人、サポート会員104人、両方会員35人（平成31年3月末時点）
- 平成30年度サポート件数1,517件

●家庭教育講演会の開催

日時 平成30年7月7日(土)13:30～15:30

内容 「ニャーゴのやさしさ・ティラノのおもいやり」

講師 宮西達也氏（絵本作家）



基本目標Ⅱ

男女の人権尊重と暴力の根絶

差別や偏見のない社会を目指し、人権意識の啓発を行うとともに、男女間のあらゆる暴力の根絶に努めます。また、生涯を通じて社会参画ができる環境づくりのため、健康の保持増進を図るとともに、高齢者、ひとり親家庭、障害者等に対する自立支援や生きがいづくりに努めます。

平成30年度の主な事業・取組例

●小学生への人権啓発

- 「人権の花」運動を市内小学校4校で実施（大原間小、波立小、三島小、横林小）

●中・高校生に対するDV防止のための啓発

- 市内の高校生を対象に、デートDVに関する朗読劇やワークショップを実施
- デートDV防止パンフレットを作成し、市内中学・高校3年生へ配布



基本目標Ⅲ

あらゆる分野への男女共同参画の推進

男女が対等な構成員として、政治、経済、社会、文化などあらゆる分野に参画していくため、政策・方針決定過程への女性の参画を図ります。また、地域の活動に性別や年代にかかわらず参画できる環境づくりを推進します。

平成30年度の主な事業・取組例

●生涯学習出前講座(行政編)市民編)

- 登録講座数 行政編：64講座 市民編：56講座
- 延べ実施回数 行政編：229回 市民編：16回
- 延べ利用者数 行政編：12,950人 市民編：359人

●協働のまちづくり推進協議会の運営

- 共催事業「地域活動・なすしおばら市民フェスタ2018」
- 期日 平成30年8月5日(日)
- 市内の各団体の出店とトークセッション





地域で活躍されている方

男女共同参画の視点から、西那須野地区と黒磯地区で自治会活動をはじめとした地域活動を行っている 広川 孝子さんと清川 典子さんにお話をうかがいました。



どのような活動をされていますか？

自治会、ふれあいまつり仮装大会実行委員、自然体験塾の主に3つの活動を行っています。

自治会活動では、生活部長(以前は婦人部という名称だったが、男性も参加するものということから、生活部に名称変更)を務めさせていただいております。主な活動としては、月2回の「西三島いきいき子育てサロン」の開催、「蕎麦打ち教室」、「男の料理教室」、「西三島大運動会」昼食の準備係、「防災訓練」給水、給食係等があります。

毎年夏に、西那須野駅前で行われる「ふれあいまつり仮装大会」に実行委員として、準備や運営に携わり、また参加者として活動したりしています。

自然体験塾では、「つくる」「あそぶ」「たべる」の3つをテーマに、自然のものを使っての工作や流しそうめん・カレー作りなど、小学生の子どもたち・親子が様々な体験ができるような活動をしています。地域の人々、高校生のボランティアサークルや、中学生の子どもたちと一緒に協力してくれています。



広川 孝子さん
(西那須野地区)

活動を始めたきっかけは？

自治会活動では、前自治会長が中学の恩師であり、何かお手伝いできることはないかと聞いたことがきっかけです。生活部副部長となり12年、部長になってからは6年ほど活動しています。

ふれあいまつり仮装大会実行委員会は、子どもたちが小学生の頃、仮装大会へ参加していたことがきっかけでお声掛けがあり、自然体験塾では、活動されていた方がお辞めになる際に引継ぎまして活動を始めました。

活動を続けられる理由や原動力は？

とにかく活動が楽しくて大好きなこと、「好き」の一言に尽きます。 また子どもが好きで子育てサロンなどではいつもパワーをもらっていますね。活動を始めた当初などは何をしたら良いかわからず、大変なこともありましたが、みんなとお喋りしたり、食べたり飲んだり、何かに取り組んだり、そうした人と人との繋がりが本当に楽しくて好きだから、続けてこられたんだと思います。



自然体験塾

誰もが住みよいまちづくりをしていくためには、どんなことが必要だと思いますか？

近所の人の顔が分かるような、人と人の繋がりのある地域づくりが大切だと思います。見守り活動などの他、自治公民館などの活動場所・居場所は作られていますので、そこにどうやって参加してもらえるかが重要だと考えます。



ふれあいまつり仮装大会

今後どのような活動をしていきたいですか？

西三島では、高齢者の生きがいサロンと乳幼児の子育てサロンが別々にあり、年に一度交流会が開催されています。もし、可能であれば、少しずつ高齢者も子どもも年齢や性別の垣根を越えて、楽しく集えると良いなと思います。

個人的には仮装大会では、夫婦で「ヒロちゃんズ」を結成して活動しております。夫が段々と仮装に使う道具や小道具作りが楽しくなっているので、来年こそは、グランプリを目指します。

どのような活動をされていますか？

豊浦町自治会の会計として20年、自治会長としては通算18年です。豊浦町自治会は、90世帯・8班の構成で、見守り活動、防災訓練、敬老会、世代間交流事業(ボウリング大会)、一斉美化運動、廃品回収など様々な活動をしています。見守り活動の一つである毎月の高齢者訪問では、民生委員、自治会役員とともに高齢者の世帯を訪問し、手作りの防犯防災を呼び掛けるチラシやお知らせの紙を貼ったティッシュボックスなどをプレゼントしながら、世間話をしたり悩みを聞いたりしています。また、**小さい文字が見えにくい人のために、月2回の広報誌の内容を必要な場合は抜粋して、独自のお知らせをつくって回覧することもあります。** 敬老会は、会場として私の自宅を開放することにより、気軽に参加できるようにしています。高齢者の方お一人では参加できない場合は、家族と一緒に参加できるようにし、9割以上の参加率になっています。

廃品回収について、今私達に社会貢献として何ができるかを考え、福祉施設の事業に全面的に協力をしています。高齢者訪問でお宅を訪問する際には、資源物の回収を行い、喜ばれています。町内の皆さんも自ら資源物を私の自宅まで届けてくれます。その資源物は、福祉施設へお渡ししています。月1回の回収日には2トン車2台分にもなります。自治会活動に参加できない人もいるので、この福祉施設製造の、みそを購入し、全家庭に年に2回配りながら見守り活動もしています。



防犯防災などに関するお知らせの紙を貼ったティッシュケース



清川 典子さん
(黒磯地区)

活動を始めたきっかけは？

亡くなった夫が自治会長を務めており、引き継いで自治会長となりました。

活動を続けられる理由や原動力は？

中学生時代、私は商店を営む祖母と2人暮らしをしておりました。祖母はお店にきた人におにぎりを差し出しながら、「人はな 腹いっぱいだったら いろいろしねえよ そしたら 悪さも事故もなくなる おめえがな いろいろしねがったら 周りの人 皆幸せだよ」といつも同じ言葉を繰り返していました。祖母の言葉を当時は理解できませんでしたが、今なら何だか分かるような気がします。自分がされて嬉しいことを誰かにすると、その誰かもその誰かの周りも、そして自分自身も嬉しくなりますよね。

先日、私が右腕を骨折してしまった時、入院先では本当に沢山の人の御見舞いいただきました。また、自宅に戻ってからも毎日食事などを作りに訪問していただきました。その時は本当に嬉しくて嬉しくて感謝の気持ちでとまりませんでした。こうした助け合える人と人との繋がりが喜びが活動を続けられる原動力だと考えています。

誰もが住みよいまちづくりをしていくためには、どんなことが必要だと思いますか？

失敗することや変わってしまうことを恐れずに、ダメだったらもう一度やり直してみようという「小さな勇気」をもって挑戦することが大切だと思います。地域の人々の顔が分かるような関係づくりが大切だと思っています。みんなの手を取り合えるような、そんなまちづくりをしていけたらと思います。

今後どのような活動をしていきたいですか？

自治会を担う次の世代を育てていければと考えています。

自治会の役目は自治会にいらっしゃる方一人一人を照らすことだと思っています。活動に参加してくれている方だけではなく、参加されていない方への配慮が大切だと考えています。皆さんに自治会に対する意識をもっといただけたらと思います。



毎年楽しみな敬老会

“男女共同参画フォーラム2019”のお知らせ



日時 令和元年 **12月1日(日)** **開場** 12:30
開演 13:00~15:30

場所 三島ホール(那須塩原市東三島6-337)

- 内容**
- 開会行事
 - 男女共同参画推進事業者表彰式
 - 講演
「自分を生きる ~それぞれが、それぞれの「色」に輝いて~」
 - 講師：**落合恵子** (作家/クレヨンハウス主宰)

講師プロフィール 栃木県生まれ。明治大学英米文学科卒業後、株式会社文化放送に入社。アナウンサーを経て作家活動に入る。執筆活動だけでなく、子どもの本専門店「クレヨンハウス」、女性の本専門店「ミズ・クレヨンハウス」を主宰している。

入場料 無料 ※整理券が必要です
11月5日(火)より整理券配布開始予定

整理券配布場所

- 本庁市民協働推進課(3階5番窓口)
- 西那須野支所総務税務課(1番窓口)
- 塩原支所総務福祉課 ● 箒根出張所 ● 三島公民館

託児 無料 ※満1歳以上のお子さんが対象 定員5名
11月18日(月)までに市民協働推進課へ電話申込
【問い合わせ先】 市民協働推進課 男女共同参画係
☎0287-62-7019

「秋の風景」



作：miina 絵：daisuke

フェスタinパーティ

～つながろう笑顔で、つなげよう未来へ～

日時 令和元年11月16日(土) 10:00~15:00

場所 パルティ とちぎ男女共同参画センター
(宇都宮市野沢町4-1)

内容 ママのための防災講座「防災ママカフェ(全1回)」の開催
●申込締切 11/2(土) ●保育締切 10/26(土)

男女共同参画の発表、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業やフェスタの協賛企業の展示、ダンス・パフォーマンス等のステージ発表、クイズに答えるスタンプラリー、手作り品や食品の販売、など親子で楽しめるコーナーもたくさん！ご家族・お友達をお誘いの上、ぜひお越しください。



11月12日から11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。

配偶者等からの暴力(DV)、性犯罪、ストーカー行為、セクシュアル・ハラスメントなどの女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で克服しなければならない重要な課題です。

編集委員/阿久津一志 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子 和氣喜美子
編集/みいな編集委員 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課
〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108番地2
Tel:0287-62-7019 Mail:kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp